

令和3年第4回定例会(令和3年12月13日)

厚生環境教育委員会委員長 (荒金 卓雄 委員長)

去る12月2日の本会議において、厚生環境教育委員会に付託を受けました「議第87号 令和3年度別府市一般会計補正予算(第8号)」関係部分、ほか12件について、委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

まず、「議第87号 令和3年度別府市一般会計補正予算(第8号)」関係部分及び「議第91号 令和3年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)」関係部分の予算議案についてであります。

初めに、高齢者福祉課関係であります。令和2年度における老人クラブ数及び会員数が当初の見込みを下回ったため、前年度事業の精算に伴う県への返納金を計上しているとの説明がなされました。委員から、会員数を増やすための市の取組に関する質疑に対し、当局から、会員増に向けて老人クラブ連合会と協議していきたいとの答弁がなされました。

次に、ひと・くらし支援課関係では、生活困窮者自立支援法の規定に基づき、離職や廃業による経済的な困窮により住居を喪失するおそれのある方に対し、家賃に当たる住居確保給付金を支給するための債務負担行為を計上しているとの説明がなされました。委員から、利用世帯数に関する質疑がなされ、当局から、令和3年度10月末現在で251件3323万円給付しているとの答弁がなされた次第であります。

続きまして、障害福祉課関係では、前年度事業の精算に伴う特別障害者手当等給付費等の負担金収入を計上していること、また、利用者数や事業所数の増加等に伴い、自立支援給付費等の追加額とその財源となる国庫及び県支出金収入の補正、併せて前年度事業の精算に伴う国や県への返納金等を計上しているとの説明がなされました。健康推進課関係では、新型コロナウイルス感染拡大の抑止と市民の安全、安心を確保するためワクチンの3回目接種に伴う経費を計上しているとの説明がなされました。また、介護保険課関係では、前年度事業の精算に伴う国や県への返納金等を計上していることについて説明がなされました。

次に、子育て支援課関係では、新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待のリスクが高まっていることから、見守り強化のため、事業実施団体が見守りの必要な児童等の居宅を訪問するなどし、状況の把握や食事の提供、学習・生活指導等をするための補助金を計上しているとの説明がなされました。委員から、対象となる世帯数に関する質疑に対し、

当局から、要保護児童対策地域協議会で見守り等を行っている家庭の中から見守り強化が必要と判断している約20世帯を予定しているが、支援が必要と思われる家庭については、その都度対応するとの答弁がなされました。

続きまして、スポーツ推進課関係についてであります。総合体育館、市民球場、実相寺パークゴルフ場など6件のスポーツ施設グループに対する指定管理の指定に伴い令和4年度から令和8年度までの5年分の指定管理料の債務負担を計上しているとの説明がなされました。教育政策課関係では、今年度予定していた旧浜脇中学校跡地の解体工事等について、周辺道路拡幅工事との工期調整の結果、周辺住民への配慮のため、次年度に繰越すとの説明がなされました。また、学校教育課関係では、中学生が九州大会及び全国大会に出場した場合、大会出場に要する交通費や宿泊費を補助しているが、例年に比べ出場者が多かったことや開催地が沖縄や関東地区であったことで旅費が高額となり不足分を追加計上しているとの説明がなされました。さらに、社会教育課関係では、現在休館し改修中である別府市公会堂市民会館大ホールの舞台照明について、令和4年4月からの業務開始に当たり、操作方法などを研修する準備期間が必要であることから、債務負担行為を計上しているとの詳細な説明がなされた次第であります。

次に、「議第91号 令和3年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）」関係部分では、要介護認定者の増加に伴うケアプラン作成費用を追加計上しているとの説明がなされました。委員から、要介護認定者数の推移に関する質疑があり、当局から、昨年度と比較すると、なだらかな増加傾向にあり、要介護認定者は98名、ケアプランの作成数は2610件の増加が見込まれるとの答弁がなされました。

最終的に、「議第87号」及び「議第91号」のいずれの予算議案も、当局の説明を了とし、全員異議なく可決すべきものと決した次第であります。

続きまして、4件の条例議案及び7件のその他議案についてであります。

初めに、「議第93号 別府市手数料条例及び別府市印鑑条例の一部改正について」のうち、市民課関係部分では、個人番号カードを利用し、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機を介して印鑑登録証明書や住民票等の写し等の各種証明書を交付する場合における当該交付に係る手数料の額を引き下げるものであるとの説明がなされました。これに対し、委員から、コンビニ交付を受ける場合の手順やマイナンバーカードの取得状況について質疑がなされ、当局から、コンビニに設置している端末機に住民票等の交付についてのメニューが表示されるため、交付を希望する証明書等を選択し、マイナンバーカードを差し込み、暗証番号を入力することで簡単に交付を受けることができること、また、マイナンバーカードの取得率は現在34%であり、取得率向上の

ために公民館等へ出向くなど出前申請サポートを実施している旨の答弁がなされました。

次に、「議第95号 別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例及び議会の議決に付すべき公の施設の利用及び廃止に関する条例の一部改正について」では、11月に完成したウエイトリフティング場を広く市民の方に利用していただくに当たり、別府市営体育施設に追加すること、また、ウエイトリフティング競技の特殊性、専門性を鑑み、ウエイトリフティング協会へ長期独占利用してもらうことで、施設の管理運営をお願いするものであるとの説明がなされました。委員から、一般市民が使用し怪我をした場合の保険は、どうなっているのかとの質疑に対し、当局から、協会において適切に対応するとの答弁がなされた次第であります。

続きまして、「議第96号 別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」では、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令の一部が訂正されたことに伴い条例を改正するものである旨の説明がなされました。

「議第97号 別府市国民健康保険条例の一部改正について」では、健康保険法施行令等の一部が改正され、出産育児一時金等の金額が改定されたことに伴う条例改正である旨の説明がなされました。

最後に、「議第102号から議第108号 指定管理者の指定について」では、体育館やグラウンドなど7件の対象施設等において、管理者の指定に当たり議会の議決を求めるものであるとの説明がなされました。委員からの指定管理者公募に係る実績等の条件の緩和やグラウンドや競技場等における市民利用の向上、また、芝生の環境整備等に関する質疑に対し、当局から、公募に当たっては、門戸を広げ、競争の原理が働くための取組を行っていくとの答弁がなされました。また、ラグビー日本代表やトップチームのキャンプ誘致には、引き続き質の高い芝生の環境が必要ではあるが、スポーツツーリズム推進のため広く市民が利用できるように新しい指定管理者と協議するとの答弁がなされました。

以上、4件の条例議案及び7件のその他議案につきましても、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決したところであります。

以上で、当委員会に付託を受けました議案に対する審査の概要と結果の報告を終わります。何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。